

NPO法人木の建築フォーラム主催

木づかいオンラインサロン2025・2026 第4弾 第9回

日時6月9日火曜日 18時30分～20時30分 会場：Zoom *下記より申し込みください。

タイトル：フィンランドの最先端木材加工技術とこれからの日本の木造建築」

講師：森川正文（OY FINLAND LAMINATED TIMBER LTD 会長）

経歴概要

1955年三重県生まれ。ペンシルベニア大学芸術学部大学院建築学科卒業後、アメリカとフィンランドの設計事務所得意匠設計に携わる。

1990年、ヘルシンキでMorikawa Architects Ltd.を設立し、意匠設計をする傍ら日本の在来軸組み工法の工業化をテーマにフィンランドの林業及び木材加工業の分野を研究。

1996年、構造用集成材のJAS規格が性能規格に改定されるのを機にフィンランド・スオネンヨキ市に構造用集成材工場を建設。

2005年、製材会社(IPO WOOD)を買収し、伐採権を購入するところから事業を再構築。

2009年、株式会社FLT JAPANを設立。三重県伊賀市の名阪国道沿にある倉庫(3000坪)を買収し、倉庫業と運送業の認可を取得して木造の構造材に特化した流通業を始める。

2023-2024年、原木の受け入れ・製材・乾燥・選別・梱包ラインを連動させ、IPO WOODを無人化。



講演概要

日本の在来軸組構法を工業化する必要があると、在来軸組構法の柱と梁に構造計算が可能な構造用集成材が必要だと学生の時に考えていました。フィンランドへ渡り、森林を見て構造用集成材の原材料に最も適しているのがフィンランドの森林資源であることに気づきました。フィンランドで原木を伐採するところから日本のプレカット工場へ構造用集成材を納材するまで、林業と流通を統合した一気通貫の事業化に挑んでいつのまにか40年が経ちました。

フィンランド政府の補助金がなければ、無一文の私とパートナーが構造用集成材工場を建設する事ができません。フィンランドの国の仕組みや林業の根底にあるフィンランド森林国家戦略などを説明します。

IPO WOODに導入したフィンランドの最先端技術について説明します。

日本の林業について率直に私自身の考えを述べ、質疑等々の際に皆様から意見を伺いたいと思っています。

会費：フォーラム会員・学生は無料、一般1,000円（12回通し10,000円）サロンオーナー：杉本洋文・速水亭

事務局：NPO木の建築フォーラム事務局 〒112-0004東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル4階

TEL：03-5840-6405 FAX：03-5840-6406 E-mail：office@forum.or.jp <http://www.forum.or.jp/>